

## 令和7年度 第2回子ども部会 議事録

日 時：令和7年12月5日（金） 10:30 ~ 12:00

場 所：奄美市役所 6階中会議室

参加者：松尾（nYokki）、原田（あすなろ）、福田（にこぴあ）、児玉（のぞみ園）、泰、吉田（みらいはうす）、長（愛かな）、福原（聖隸かがやき）、向、境田（CSA）、勝田（相支：聖隸かがやき）、田中（奄美市教委）、上田（特別支援学校）、丸山、池田（大島北高校）、大水流（奄美高校）、塩屋（名瀬保健所）、福崎、恵島、向井（ぴあリンク奄美）

リモート：渡（ここ園）、萩原、阪本（瀬戸内町保健福祉課）、原（療育センター）

※敬称略 参加者：24名



### 1. 参加者自己紹介

### 2. 報告/情報提供

①事務局より「保育所等訪問支援事業パンフレットについて」

②大島特別支援学校より「就学相談会について」



### 3.グループワーク

#### 議題：子どもの支援における連携について

##### ○多職種連携について

⇒早めに療育へつなげるため子ども部会などにて顔の見える関係性を作ることも大切。

##### ○発達について

⇒のぞみ園や聖隸かがやきで行っている「親子教室」保健師と連携を取っている。

##### ○障害理解と保護者とのコミュニケーション・支援について

⇒保護者の療育へのハードルを下げる。できていないことよりできることを探す。

スモールステップでできたことを伝えていく、信頼関係を構築していく。

##### ○就学時の支援について

⇒就学児親の会では先輩保護者の話を聞くことができるため、活用してほしい。

⇒就学に向けて各市町村でスケジュールが異なる。(就学相談委員会など)

子ども部会にて年度ごとに就学に向けた各市町村のスケジュールを周知してほしい。

⇒特別支援学校作成の就学相談会パンフレットがわかりやすかった。

改めて就学に向けた流れについて把握したうえで支援に携わってほしい。

##### ○卒業後や福祉サービス終了後のフォローワー体制について

⇒挑戦し失敗することも学びにはなるが、困った気に相談できる場所があると安心。

「あまみ就業・生活支援センター」手帳がなくても相談可能。

「かごしま若者サポートステーション」15才～49才まで。

「かごしま子ども・若者総合相談センター」不登校・引きこもり等について相談可能。

##### ○保育所等訪問支援について

⇒学校を指導するのではなく、児の支援チームであるという考え方で進めていきたい。

⇒保育所や幼稚園と比べると学校には入りづらさがある。

⇒書式がそれぞれの事業所で異なる。児発管情報交換会にて改めて書式統一について進める。

##### ○不登校支援について

⇒不登校児の居場所づくりを地域で作っていきたい。

【1G】



【2G】



【3G】



【4G】



【オンライン】



#### 4.その他

○第3回そだサポ研修&交流会

・令和7年12月19日(金) 18:30～ オンライン

○第5回そだサポ勉強会

・令和8年1月16日(金) 18:45～ オンライン

○南部地区子ども支援net

・令和8年1月23日(金) 13:30～ きゅら島交流館